



# 新品種イチゴ「みおしずく」の販売戦略について

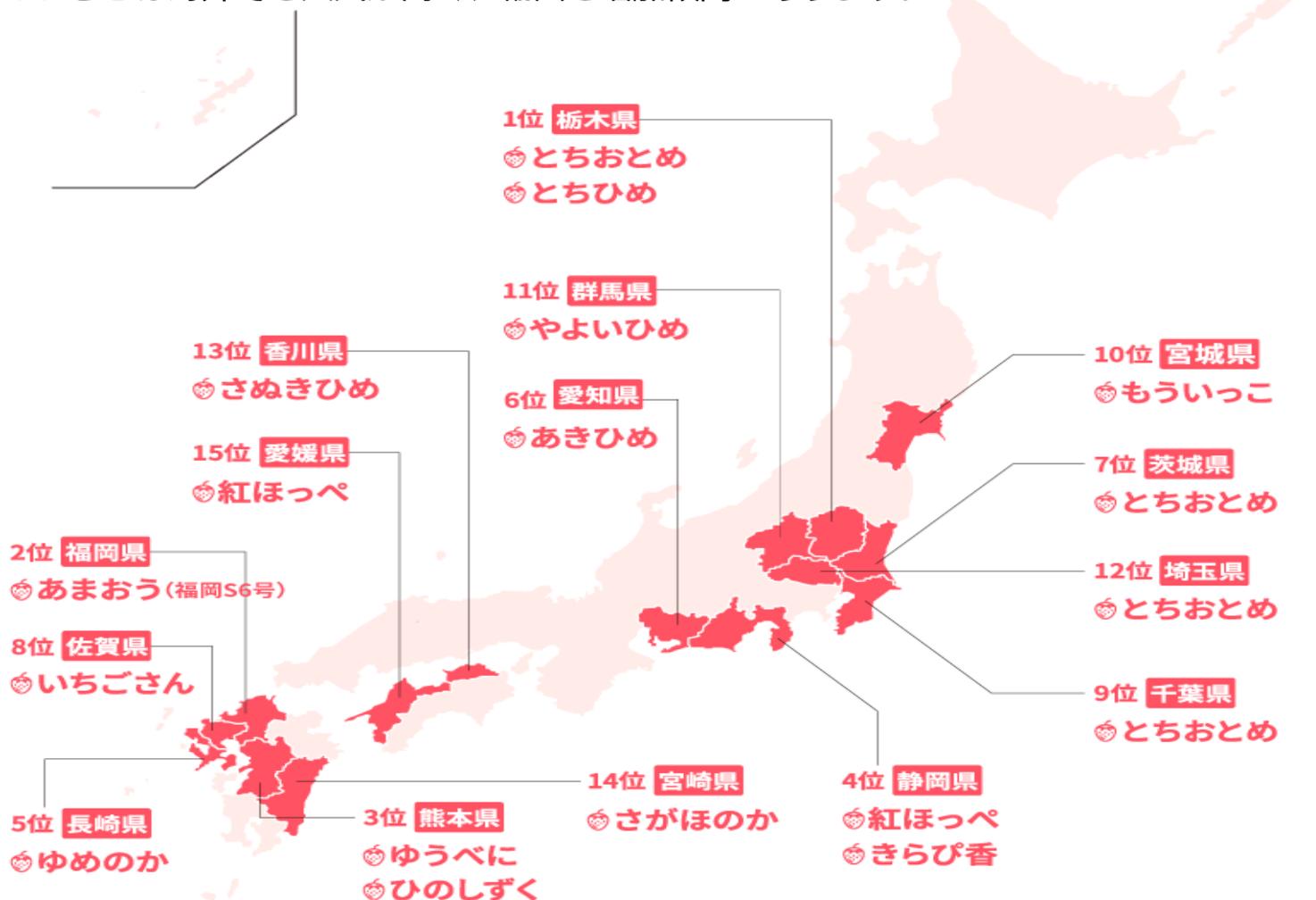
---

令和5年10月

全農滋賀県本部  
農産部 園芸特産課

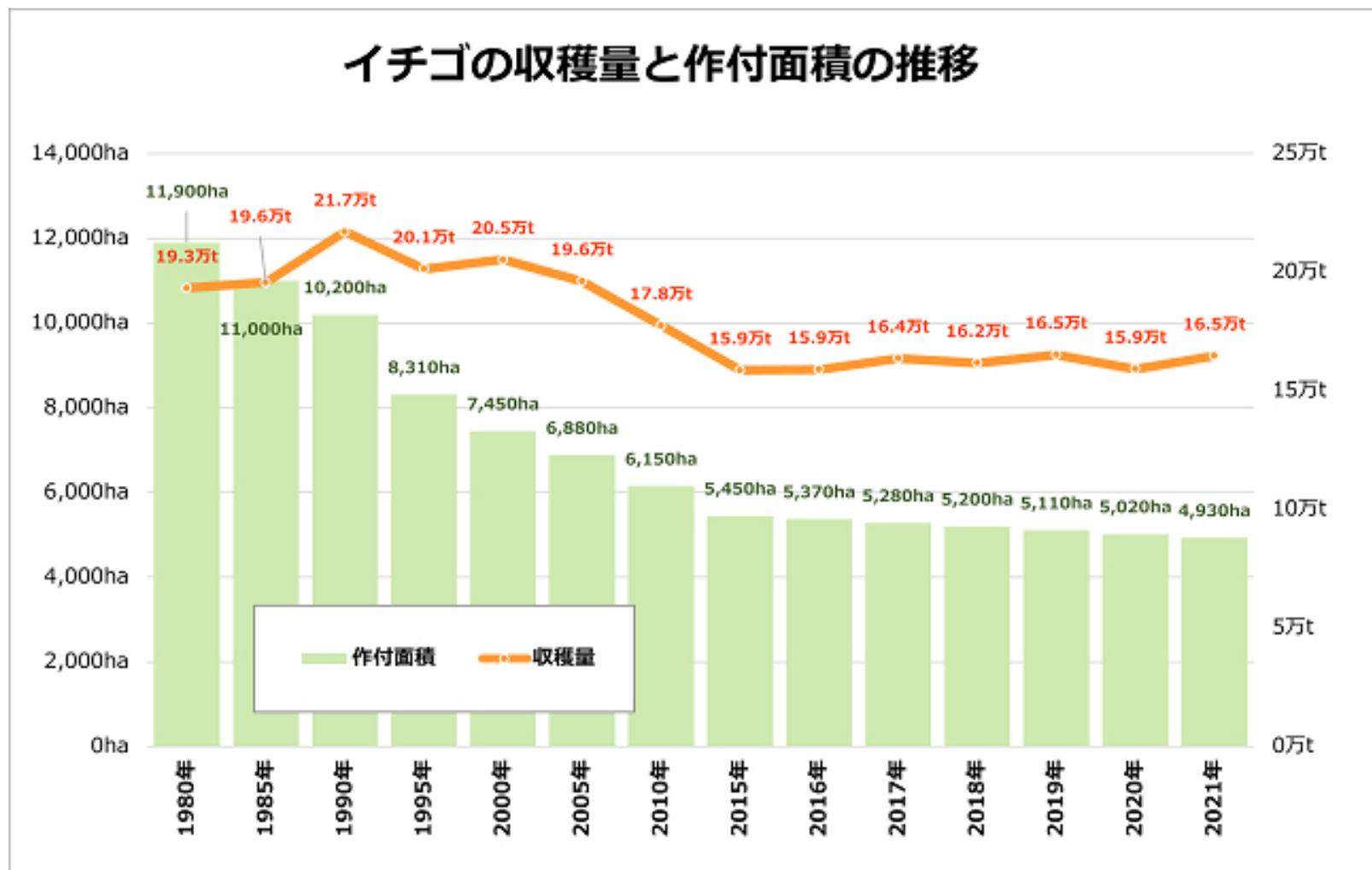
# 国内で生産されている主ないちご

- 日本のいちごは品種も約300種と大変多く、世界全体の品種の半分以上が日本のものだという説もあります。
- 現在も日本各地で品種改良が重ねられ、個性的な新品種も続々と誕生。生産地を代表する“ご当地ブランド”となるいちごも生み出されています。
- また、日本のいちごは海外でも人気が高く、輸出も増加傾向にあります。



# イチゴ生産量と近年の推移（全国）

- ・ 2021年の全国のイチゴ生産状況を見ると、全国では作付面積が昨年比98%とわずかに減少していますが、収量・10a当たり収量・出荷量はすべて100%を超え、結果として生産量を増やしています。



# イチゴ生産量と近年の推移（全国）

- ・イチゴの生産量第1位の栃木県は、今回で1968年産以降54年連続収量1位の座に輝き、作付面積でも2001年産以降21年連続で1位を守っています。
- ・福岡県は、10a当たりの収量は3,880kgと7位に甘んじていますが、作付面積は428haと3位以下を大きく上回り、2位となっています。

順位	県名	収穫量	構成比	作付面積	構成比
1位	栃木県	2万4,400t	14.8%	509ha	10.3%
2位	福岡県	1万6,600t	10.1%	428ha	8.7%
3位	熊本県	1万2,100t	7.3%	298ha	6.0%
4位	愛知県	1万1,000t	6.7%	254ha	5.2%
5位	長崎県	1万700t	6.5%	266ha	5.4%
6位	静岡県	1万500t	6.4%	292ha	5.9%
7位	茨城県	9,220t	5.6%	240ha	4.9%
8位	佐賀県	7,380t	4.5%	160ha	3.2%
9位	千葉県	6,630t	4.0%	218ha	4.4%
10位	宮城県	5,000t	3.0%	136ha	2.8%
その他	—	5万1,270t	31.1%	2,129ha	43.2%
全国計	—	16万4,800t	100.0%	4,930ha	100.0%

# イチゴ生産量と近年の推移（全国）

## 【栃木県】

「いちご王国・栃木」としてキャラクターやアンバサダーを起用し、PR活動もとても積極的です。また、品種改良も盛んで、多くのオリジナル品種が育成されています。全国No.1のシェアを持つ主力品種の「**とちおとめ**」をはじめ、期待の新品种「**とちあいか**」「**スカイベリー**」や、白いイチゴの「**ミルキーベリー**」、夏に収穫できる「**なつおとめ**」などの品種を主に栽培しています。

## 【福岡県】

「**あまおう**」の栽培は、許諾契約を結んだ福岡県内の生産者および生産団体に限られます。福岡県のJAグループでは、差別化を図るため「**博多あまおう**」のブランド名で販売しています。2022年は「**博多あまおう**」20周年ということで、福岡県やJA全農ふくれんが主体となって大々的にキャンペーンを行っています。

## 【熊本県】

熊本県は作付面積が微減しているものの、10a当たり収量を前年比102%と伸ばし、3位となりました。主要品種は比較的新しい「**ゆうべに**」や「**恋みのり**」などです。

「**ゆうべに**」は2015年、100年に一度しかない「15（イチゴ）」イヤーに誕生した、食味がよく中まで赤いのが特長の熊本県のオリジナル品種です。熊本県産イチゴの主力品種として、マスコットキャラクターやおなじみの「くまモン」が盛り上げています。

## 【愛知県】

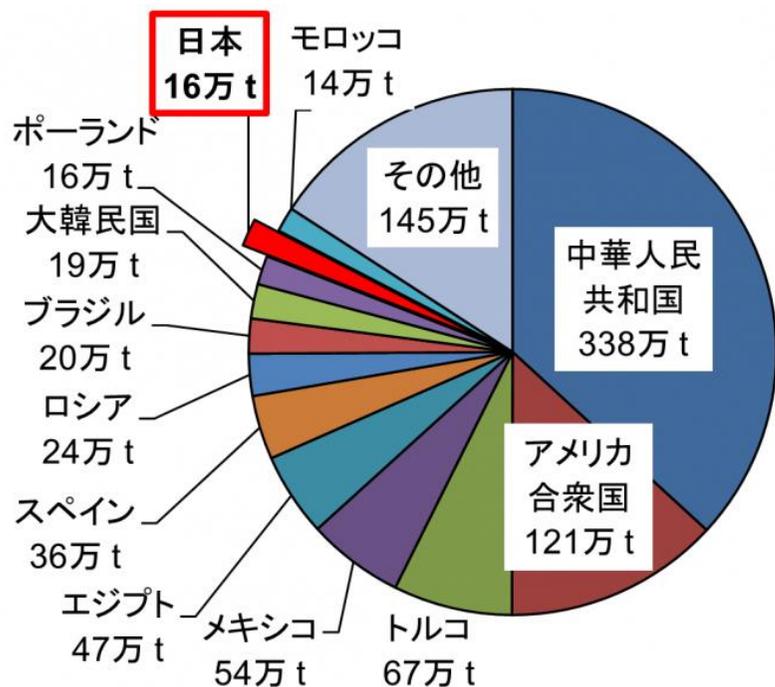
温暖な東海地方からランクインしたのは愛知県です。作付面積は254haと、同じ東海地方の静岡県（292ha）を下回りますが、10a当たり収量が4,320kgという生産性の高さで4位の座に輝きました。

愛知県で生産されているイチゴは、主に「**とちおとめ**」「**章姫**」「**紅ほっぺ**」「**ゆめのか**」などです。2022年9月には、ゆめのか以来15年ぶりに愛知県発の新ブランド「**愛きらり**」が商標を取得しました。イチゴ農家や関係団体が立ち上げた「**愛知県いちご新品种ブランド化推進協議会**」が、PRや需要拡大に向けた取り組みを進めています。

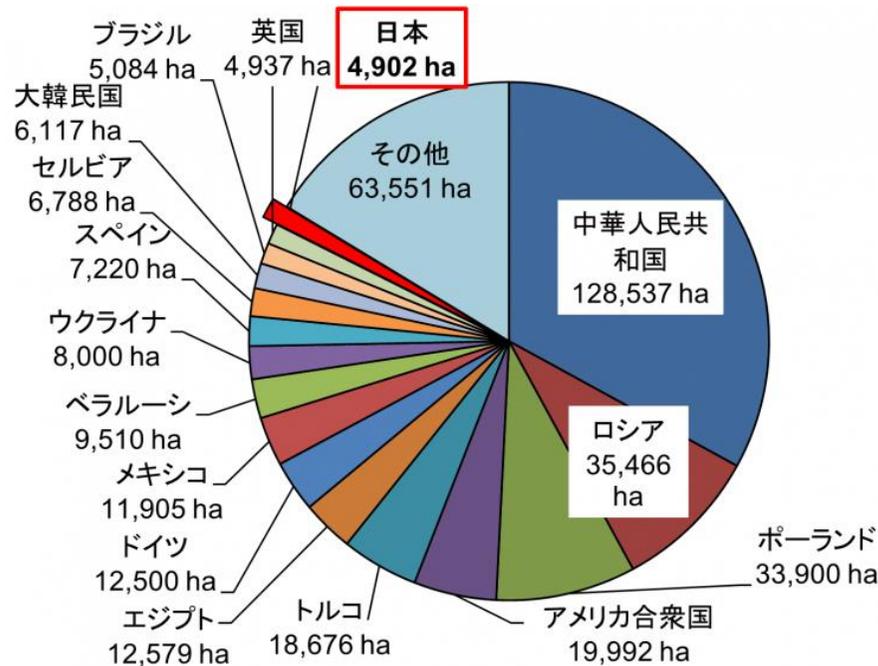
# 世界のイチゴ生産量

世界のいちご生産量は約918万tで、中華人民共和国が338万tで最も生産量が多く、次いでアメリカ合衆国が121万tと2番目に多くっており、この2国で世界の生産量全体の約50%を占めています。日本は世界で11位の16万tの生産量があり、世界の生産量の約1.7%となっています。

世界の国別いちご収穫面積（2021年）



世界の国別いちご収穫面積（2021年）



# 日本のイチゴ輸出先

日本のイチゴの輸出先は主に東南アジア（香港、台湾、タイ、シンガポール、マレーシア）となっています。特に、香港、台湾市場での評価が高く、日本ブランドとして高価格帯で販売されているものの、近年の高品質、多品種傾向から品質、形、糖度等へのこだわりが高くなっています。

日本のイチゴ輸出先ランク（2020年）

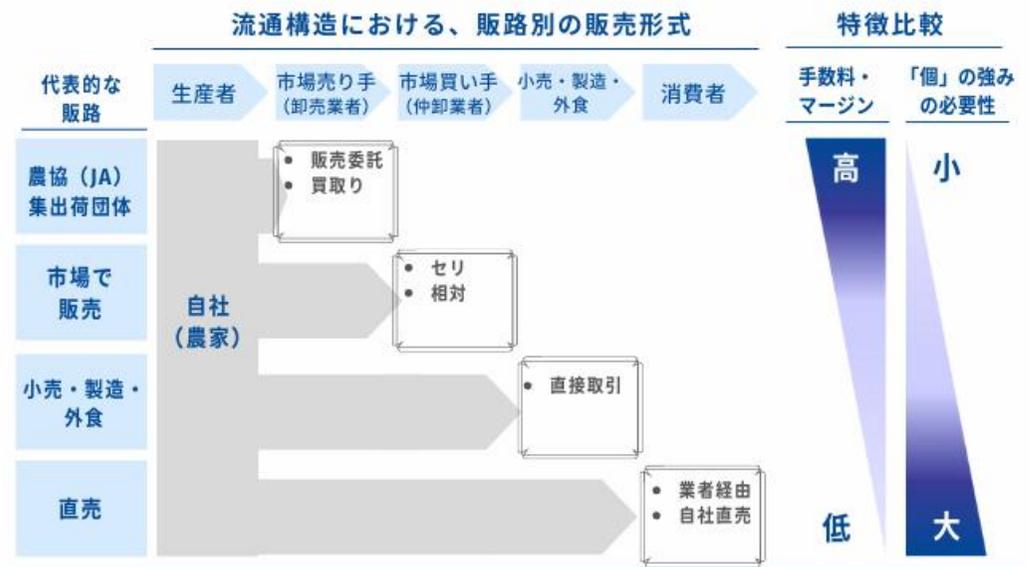
順位	輸出先	輸出量	輸出額	単価（kg）
1位	香港	1,676トン	37億6,703万円	2,248円
2位	台湾	266トン	6億3,983万円	2,405円
3位	タイ	97.7トン	3億7,315万円	3,819円
4位	シンガポール	87.5トン	2億6,210万円	2,994円
5位	マレーシア	29.8トン	1億19万円	3,358円
6位	アメリカ	14.8トン	6,180万円	4,165円
7位	カンボジア	8.4トン	2,639万円	3,153円
8位	マカオ	2.3トン	739万円	3,183円
9位	アラブ首長国連邦	646キロ	210万円	3,257円
10位	グアム	167キロ	40万円	2,419円

# 全農の園芸事業取り組みについて

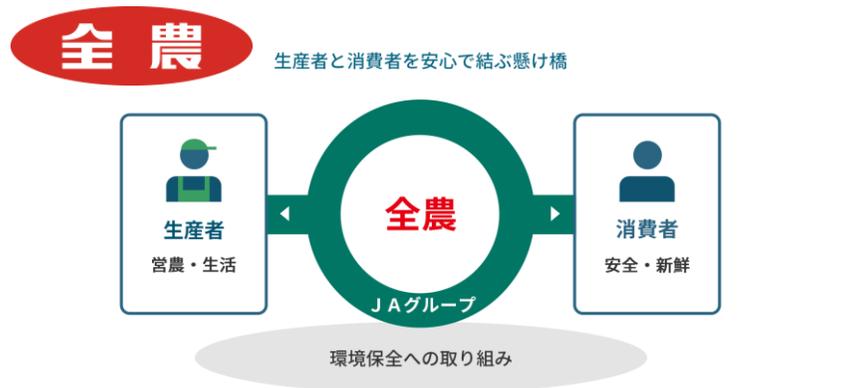
## 卸売市場の主な役割

1. 多様な青果物を集めて仕分ける「集荷・分荷機能」
2. 取り扱う青果物の価格を公正に決める「価格形成機能」
3. 出荷者への「代金決済機能」
4. 出荷者と購入者双方への「情報受発信機能」

## 販路の特徴

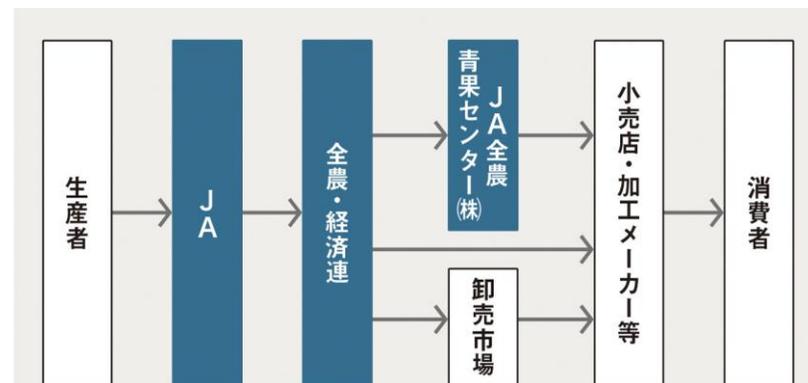


Corporate Directions, Inc. All Rights Reserved



## 青果物の生産を支え、多様な経路で販売

生産者、JAから集荷した青果物を消費者のみなさまにお届けするため、子会社である **JA全農青果センター(株)** や卸売市場などを通じて、小売店や加工メーカーなど多様な取引先に販売しています。取引先の要望をJA、生産者に伝え、契約栽培を広げるなど生産振興にも取り組み、青果物の安定生産、安定供給につなげています。



# 新品種イチゴ「みおしずく」の販売戦略について

## 1. 市場への青果販売

令和5年産の目標販売パック数：**30万パック**（現状の想定市場出荷数量は14万パック）

### ① 県内市場…25万パック

- ・平和堂県内全店 15万パック
- ・コープしが店舗 5万パック
- ・その他 5万パック

### ○ 出荷形態

- ・平パック（オリコン）
- ・レギュラーパック（オリコン）



平パック



平パック用オリコン

### ② 関東市場…1~5万パック

- ・大丸、高島屋等の百貨店
- ・ネット販売
- ・香港市場への輸出

### ○ 出荷形態

- ・化粧箱（12または15粒入り）
- ・平パック（2Pダンボール）



※出荷基準に関しましては、ご協力いただき生産者様へご連絡させていただきます。

# 新品種イチゴ「みおしずく」の販売戦略について

## 2. 市場青果販売以外の活用

- ①平和堂との商品開発
- ②県内 洋・和菓子店との商品開発
- ③全農ニッポンエールでの原料活用
- ④大手パンメーカーとのコラボ企画

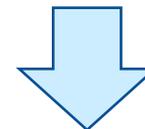


平和堂特命GM  
西川貴教さんならではのオリジナルケーキを企画  
滋賀県出身アーティスト、平和堂特命GMの西川貴教さんと一緒に滋  
賀県初のオリジナルいちご「みおしずく」をはじめ、地元の「素材をふ  
んだんに使用した、こだわりいっぱいのクリスマスケーキを企画しまし  
た。

## 3. その他

### ○大粒規格について

令和4年度の試験販売にて、  
レギュラーパックに詰める大粒の  
果実に潰れが多いという指摘が  
あった。



大粒での新規格を検討中  
(2~3粒入り)



# 新品種イチゴ「みおしずく」の販売戦略について

## 現状

- 消費者から見た滋賀県のイチゴに対する産地イメージは低い
- 新規就農者の約15%はイチゴ、トマトを中心とした施設園芸であり、今後更に増加傾向となる



## だから…

- 滋賀県においても新品種「みおしずく」を軸にイメージアップを図ることが必要
- 「みおしずく」を市場を介し積極的に県内外の量販店、飲食店、ホテル等へアピールし販売
- 作付面積の増加、品質の向上・統一を図り安定的な出荷体制の構築



## 近い将来…

- 滋賀県のイチゴ = 「みおしずく」の**ブランドの確立**
- 更なる**価格の安定**、**長期的な販売**が可能
- 章姫、紅ほっぺ等既存品種の生産者直売（庭先販売）と併せた**生産者の経営・収入の安定**を図る